



鶴居村

# つるい 議会だより

## 子ども達の笑顔と未来のために



楽しかった6年間

みんなは一人の笑顔のために

おめでとう

平成27年度予算・注目施策・・・P2～P5

平成27年度予算Q&A・・・P6～P7

6名が村政を問う

一般質問・・・P13～P18

産業常任委員会意見交換会・P20～P21

広報にかかわって・・・P22



# いてる実感

## 積極的な予算配分

# 1900万円

## 3月定例会

3月定例会は、3月10日から18日までの9日間の会期で開かれ、初日は、大石村長の行政執行方針、国安教育長から教育行政執行方針が述べられました。

一般質問は6人13件、村提出案件は33件で条例改正・一般会計補正予算として27年度一般・特別会計予算審議など活発な議論が展開され、原案通り可決決定しました。



鶴居村は君たちの未来を応援します！

## 6特別会計との総額 44億2330万円

### 平成27年度 鶴居村一般会計予算

	27年度	26年度	前年度比較		
			増減額	増減率	
一般会計	35億1900万円	39億1300万円	▲ 3億9400万円	▲ 10.1%	
特別会計	水道	4400万円	4820万円	▲ 420万円	▲ 8.7%
	農業集落排水事業	6720万円	7240万円	▲ 520万円	▲ 7.2%
	国民健康保険	4億4060万円	3億6150万円	7910万円	21.9%
	診療所	8360万円	8680万円	▲ 320万円	▲ 3.7%
	介護保険	2億3740万円	2億5580万円	▲ 1840万円	▲ 7.2%
	後期高齢者医療	3150万円	3060万円	90万円	2.9%
	小計	9億0430万円	8億5530万円	4900万円	5.7%
合計	44億2330万円	47億6830万円	▲ 3億4500万円	▲ 7.2%	

### 平成27年3月末の地方債残高（借入金）と基金残高（貯金）の状況

平成27年3月末人口：2,513人

項目	金額	村民1人あたり	備考
地方債残高（借入金）	44億0493万円	175万円	見込み額
基金残高（貯金）	69億1547万円	275万円	見込み額
差引	25億1054万円	100万円	見込み額

275万－175万円＝100万円 《実質村民1人当たりの基金残高》

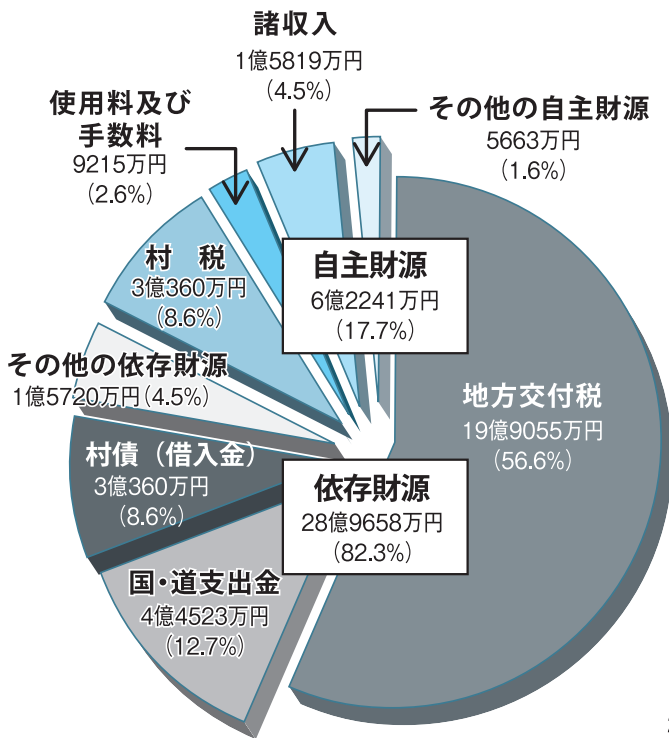


27年度  
予算

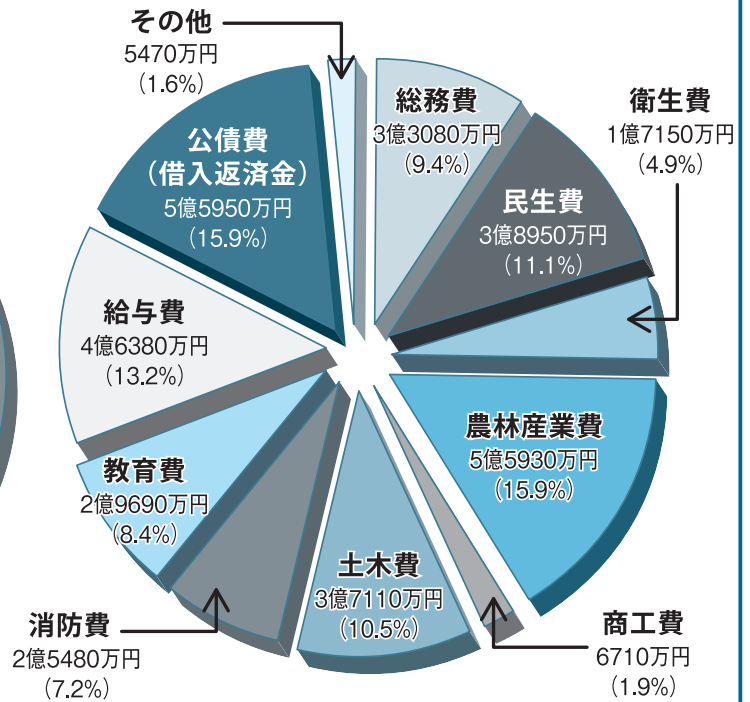
# まちが動 堅実な中にも

# 平成27年度 一般会計 35億

### 一般会計 歳入内訳



### 一般会計 歳出内訳



注1) 繰越明許費・・・事業の性質上、または何らかの事情でその年度内に、支出を終わらない見込みがある経費について、翌年度に繰り越して使用することが出来るように議会の議決を経て定める予算。





# 今年の注目事業

財産と地域（消防詰所）  
生命と健康（診療所）を守る

## 運動公園鑑賞池改修



憩いの場をより美しく

**410万円**

## 新しい農業事業化補助金



新しい農業への可能性

**500万円**

## 地域特産品等販売促進施設整備計画策定



新鮮な野菜もあります！

**275万円**

## 鶴居診療所建設基本設計等委託



**1100万円**

村民の健康と安心をより充実したものに鶴居東5丁目へ移転予定



### 村税コンビニ収納委託



コンビニにでも納められます

**290万円**

### 村有住宅購入費 建物提案型買取方式



より機能的な住まいへ

**4800万円**

### スクールバス購入費



通学をより安全に

**250万円**

### 下幌呂消防ポンプ車購入



火災の安全強化

**3600万円**

### ふるさと情報館LED化



コスト削減

**430万円**

## 下幌呂消防詰所建設



**5520万円**

生命と財産の確保は最優先



# 費用対効果は？ 事業効率化は？

## 秋里広志委員

**問** 酪農青年を海外へ派遣する研修事業の内容は？

**答** 酪農青年が経営の主になる前の余裕ある時期に、海外研修する事業です。毎年、民間の企画に3人ほどが参加する予算ですが、旅費の80%の補助となります。

**問** 酪楽館の鶴居チーズの在庫不足には職員を一人増やして対応していますが、熟成庫が狭いことへの対応は？

**答** このまま生産を増やしていくと熟成庫が足りなくなります。空きスペースを熟成庫にできないか検討中です。

**問** 道道の草刈りに対する要望が高まっています。現状は？

**答** 住民の要望を受けて村も負担する形で、道道4路線の草刈りを27年度に行います。

## 松井広道委員

**問** 新しい農業補助金とは？

**答** 酪農・畜産以外の新しい農業に挑戦する認定農業者に、設備費の50%以内で500万円を上限として補助する制度です。

**問** 鶴居チーズは各地のイベントなどで販売し好評を得ていますが、宣伝効果も考えて大きなホールの状態での販売も検討しては？

**答** 鶴居チーズがさらに認知されるように、宣伝効果を良く考えて検討したい。

## 大津泰則委員

**問** 再生可能エネルギーとして太陽光発電が村内でも行われています。その中に、山林が太陽光パネルに変わっているところもあります。今後、多面的な機能をもつ山林が失われることを危惧していますが、どのような考えをしていますが？

**答** 多面的機能をもつ森林は大切にしていきたいと思っています。また今後、再生可能エネルギーの地産地消の取り組みも重要となってくるので、村の考え方をしっかり持つて対応したい。

**問** 再生可能エネルギーとして、役場庁舎の暖房設備を薪ボイラーにする事業が、補助金や費用の関係で止まっています。今後は？

**答** 通常、薪ボイラーは8000万円ほどの事業規模で出来ませんが、今回はスペースの関係で庁舎の増改築が必要となり、また既存の重油ボイラーと接続する配管工事も必要となるため、工費が大幅増となりました。今後は時間をかけ、将来を見据えて慎重に検討を重ねます。

**問** 役場の公用車は各課で管理していますが、総務課などで一括管理し効率化を図る考えは？

**答** 一括管理は、効率化が図られる可能性もあるので、諸々検討しなければいけない課題もありますが検討していきたい。

**問** 釧路湿原縦断ウォークinつるいを初開催しますが、内容は？

**答** 8月30日に、温根内の湿原堤防道路をウォークキングする大会です。5km、10km、13・6kmの3コースで500人の参加者を予定しています。



大きなホールがほしい



再生可能エネルギーの問題点？



しっかりとした計画を！

### 予算特別委員会

委員長	吉田 保博
副委員長	東 隆行
委員	松井 広道
委員	松井 洋和
委員	秋里 広志
委員	佐藤 吉人
委員	及川 満浩
委員	大津 泰則



# 平成27年度

# 予算審議

平成27年度の予算委員会は、一般会計予算審議だけで、丸2日間を費やしました。内容や、費用対効果・事業効率について充実した議論をしました。

## 東 隆行委員

**問** 空き家バンク事業の  
新年度の予定は？

**答** 前年同様に2軒分補  
修費用を予算計上し、国  
の空き家対策事業も注視  
しながら取り組みます。

**問** 今後、介護保険の認  
定者が増えるなか、ホー  
ムヘルパーの体制は？

**答** 現在、嘱託職員2人  
とパートが5〜6人で対  
応しています。

## 佐藤吉人委員

**問** 婚活サポート事業が  
一年ぶりに予算化されて  
います。内容は？

**答** 今年度に3回の事業  
を予定しています。より  
結婚を意識した内容にす  
るため検討を重ねていき  
ます。



ハッピーエンド♡

**問** ふるさと納税をして  
くれた人へのお礼は、一  
万円未満の場合は礼状の  
みですが、鶴居村をPR  
するようなシールなどの  
啓発資材を贈呈しては？

**答** 一つの提案として今  
後、検討します。

**問** 北海道で一箇所だけ  
運行しているJRの「S  
L冬の湯原号」に、標茶  
町の保育園の園児たちが  
乗車する行事があります。  
鶴居村でも行っては？

**答** 一つの提案として今  
後、検討します。

## 及川満浩委員

**問** 国がホームヘルパー  
と保育士の賃金を加算措  
置しますが、本村の対応  
は？

**答** どちらも村の臨時職  
員の賃金表に基づいての  
賃金となるので、今回の  
加算措置への対応は考え  
ていません。

**問** 中学生までの医療費  
無料化は本村の先進的な  
子育て施策でした。高校  
生まで拡大する考えは？

**答** 重要な施策ですが、  
病気を予防することも大  
切と考えています。

**問** 特産品等販売促進施  
設の整備計画を委託しま  
すが、どのような？

**答** 観光振興ビジョンで  
考えている拠点施設につ  
ながらるような、コンビニ  
くらいの広さで軽食やイ  
ンフォメーションも含ん  
だ特産品の販売施設を考  
えています。

## 松井洋和委員

**問** 新規の障がい児支援  
専門職員派遣事業でどの  
ようなことが？

**答** 障がいをもつ子ども  
の保護者で構成する「お  
ひさまの会」との話し合  
いで、子どもの言語の発  
達を心配していたので、  
白糠学園から言語聴覚士  
などを派遣していただい  
て発達支援をします。

鶴居村の特産品



**問** 新しい鶴居診療所の  
設計はどのような？また、  
薬の院外処方については？

**答** 現在の診療面積の2  
倍ほどを予定しています。  
薬の院内、院外の処方  
は検討中です。

**問** 乳質改善奨励補助を  
行っていますが、乳量  
を増やすことに対する補助  
については？

**答** 28年度に向けて、乳  
質を維持しながら乳量  
を増やす施策を検討したい。



# 大石村長の村政執行方針

日本は第2次安倍政権の発足以来、「大胆な金融緩和」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」からなる政策によって、デフレと経済の停滞から脱却し、国内経済を成長へと導く努力が続けられています。

しかし、地方経済に波及する効果は未だ実感することができず、円安や消費税率の引き上げなどで、景気の先行きを不安視する状況が依然続いています。

また、人口減少や少子高齢社会の進展、さらには社会保障制度の見直しなどが迫られる中、エネルギー政策やTPP交渉の行方など、多くの課題を抱えた時代です。

地方自治体にとっても、地域社会を経営する意識や自らの力で経済を再生する気概が強く求められ、

地方が果たしていかなければならない役割は日々拡大しています。

私は、タンチョウと酪農が調和する自然豊かな鶴居地域の魅力と可能性を引き出し、将来に拓かれた村政を推進します。



新年度の村政執行は、本村の特性や課題を整理し、村民ニーズや時代が求める行政運営を基本としスピード感のある取り組みを推進したいと考えています。

特に、今年国が日本の人口の現状と将来の姿を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、本村の「総合戦略」を取りまとめます。



自然と人と村づくり

私は、村政執行の目標として掲げてる「笑顔と活気あふれる協働の美しい村づくり」の推進のため、総合計画などの基本姿勢との整合性に配慮しながら、次の「三つの柱」を村づくりの基本的な考え方とします。

- ① 笑顔あふれる村づくり
- ② 活気あふれる村づくり
- ③ 自立と協働の美しい村づくりです。

本村は先人たちの開拓時代からの苦労や努力によって、酪農郷として力強く前進して来ました。先人たちが築き上げた大切な財産や地域資源を守り生かしながら、村民の夢と希望を実現するため、**新たな可能性**を探って行きます。

## 教育行政執行方針

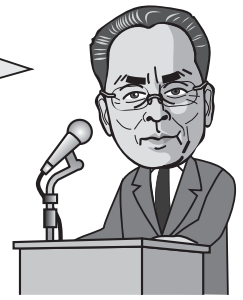
### ● 学校教育

- ① これからの社会で生きていくために必要な「たくましく生き抜いていく」力となる実践的な能力や資質の育成
- ② 地域に根ざし、地域とともに歩む鶴居村ならではの教育活動
- ③ 次代を見通した教育活動の展開に対応するとともに安全・安心な学習・生活環境を確保するための施設・設備の整備・充実

### ● 生涯学習

- ① 生涯学習活動が効率よく機能し、推進するための体制づくり
- ② 生涯学習を推進していくための各種事業の円滑な実施
- ③ 生涯学習施設の整備と有効な利活用





私より  
諸般報告をします。

2月13日開催の北海道  
町村議会議長会理事会の  
報告をします。

平成27年度事業計画な  
らびに6040万円の歳  
入歳出予算などを協議し、  
全会一致で承認されまし  
た。  
理事会終了後、高橋知  
事との行政懇談会が開催  
され、私は釧路地区の課  
題として、「釧路地方にお  
ける高速自動車道の整備  
促進について」意見を述  
べました。

次に、2月27日釧路町

で開催の釧路町村議会  
議長会2月定例会について  
報告します。

①平成27年度事業計画及  
び歳入歳出予算につい  
て例年通りの事業の内  
容と、前年対比3万4  
千円増額の歳入歳出予  
算の総額329万7千  
円とすることで承認さ  
れました。

②管内議員研修会は、11  
月下旬に浜中町で開催  
します。  
③次回、5月定例会を5  
月22日に弟子屈町で開  
催します。



私より  
行政報告をします。

### 美しい村プレミアム 商品券の発行事業

地元消費の確保、なら  
びに住民生活への支援な  
どを目的に、1セット1  
万円に村の補助支援に基  
づく加算分5千円を加え  
たプレミアム商品券14  
00セット、販売総額2  
100万円の商品券のう  
ち99・8%の利用率とな  
り、初期の目的を果たせ  
ましたとの鶴居村商工会  
から報告を受けました。

### この冬の大雪なよう による状況

本村を含む北海道東部  
地域は例年になく大雪や  
暴風雪などに見舞われ、

昨年11月から現在までの  
累積降雪量が255cmを  
記録し、平年の2・35倍  
となっているところだ。

村内では数時間におよ  
ぶ停電が発生し、酪農家  
所有の草舎で4棟、倉庫

で4棟、牛舎で3棟の倒  
壊があったほか、小・中

学校の臨時休校など、多  
方面に被害や影響が出て  
います。

これら大雪などの対応  
については、防災担当職  
員が昼夜を問わず役場に  
常駐し、気象情報の収集  
など万全な監視体制を敷  
いています。

除雪費用も例年のおよ  
そ2倍以上となる410  
0万円の予算を計上して、

懸命な除雪作業を行って  
ます。

### 経験者採用職員と 新規採用職員

経験者職員として1月  
1日付けで大崎祐介（32  
歳）を採用しました。

次に、4月1日付けで  
の新規採用として、事務  
職には渡邊優衣（18歳）  
を、保健師には、菅野ま

どか（22歳）を採用しま  
した。

また、昨年4月から北  
海道庁に研修派遣中の石  
塚裕祐については、一年

間研修派遣を継続しま  
す。さらに、新年度より2  
年間、道職員1人を受け  
入れ、主に担い手対策や  
農商工連携などの取り組  
みを推進する分野での配  
置を検討しています。

### 2月8日開催の 第28回タンチョウ フェスティバル

実行委員会の創意工夫  
を凝らした各種ゲーム、  
さらにはテレビ番組収録

や村イメージキャラクター  
「つるぼー」の登場もあ  
るなど、冬の一日を飾る

賑やかなイベントとなり  
ました。

### 2月17日開催の 「新たな根釧酪農 検討会議」

「根釧酪農振興ビジョ  
ン」の実効性ある取り組  
みを展開するため、これ  
までの検討会議から推進  
会議に組織を移行し、そ  
れぞれの地域で計画達成  
に向けて取り組みを推進  
していくことにしました。



# 3月定例会議案審議

第1回定例会は3月10日に開会し、18日に閉会しました。

村からは、一般会計と各特別会計の補正予算、条例の改正、指定管理者の指定、専決処分の承認が上程され、すべての議案を原案通り可決しました。

また、議員提出議案として意見書1件を提出し、原案通り可決しました。

## 平成26年度補正予算

### ・一般会計補正予算

6986万8千円を減額し、総額39億1088万9千円。

### ・水道特別会計補正予算

54万5千円を追加し、総額5295万3千円。

### ・農業集落排水事業特別会計補正予算

61万9千円を減額し、総額7178万1千円。

### ・国民健康保険特別会計補正予算

1076万9千円を減額し、総額4億784万円。

### ・診療所特別会計補正予算

217万7千円を減額し、総額8525万円。

### ・介護保険特別会計補正予算

2366万7千円を減額し、総額2億4253万円。

### ・後期高齢者特別会計補正予算

27万2千円を追加し、総額3141万4千円。

※今回の補正予算は、年度末による各事業の不用額整理がほとんどです。

## 新年度予算

3月16・17日に開会の予算特別委員会に付託された、平成27年度各会計予算は原案通り全員賛成で可決されました。



除雪費を追加!

2800万円  
総額4757万円

例年になく大雪により、除雪回数が増え、専決処分により除雪費を増額補正しました。

注 専決処分とは、議案が議決すべき事柄を、村長が議会に代わって処理することです。

地方創生事業!

3264万円

新規に「まち・ひと・しごと創生法」の施行を受け、鶴居村の「地方人口ビジョン」、「地方版総合戦略」の策定経費、計画推進費を計上しました。

- ・特産品販売施設の戦略策定費367万円
- ・プレミアム商品券事業の補助金 920万円
- ・地域健康創出支援システム 900万円
- ・その他

### 指定管理者の指定

鶴居村パークゴルフ場の指定管理者に、引き続き「株式会社 鶴居村振興公社」が指定されました。期間は5年間です。原案通り全員賛成で可決しました。



介護保険料が下がりませう!

4月から介護保険料の改正により介護保険料が下がります。

(P15 参照)

教育委員会の制度が変わります!

国の制度変更を受けて、教育委員長の役職が廃止され、常勤の教育長が教育委員会の長となります。この変更は経過措置があり、任期中の教育長の任期満了にともない新制度へ移行されます。

乳質改善奨励事業補助金を減額補正!

▲553万円  
総額4827万円

村では良質の牛乳を生産するため、基準を満たした良質乳の出荷乳量に対して、1kg当り1円を村単独で補助しています。が、対象乳量が当初の見込みよりも下回ったので減額補正しました。

## 一般会計補正予算

## Q &amp; A

## あれこれ

秋里広志議員

問 今年度の大雪に対応するために除雪費を増額補正していますが、今後の見通しは？

答 2月末の段階で1300万円ほど除雪費は残っていますが、3月に入ってから除雪しているのでも、これ以上雪が降らないことを祈りながら、今回の補正の範囲内で収めたいと思っています。

大津泰則議員

問 雪が堆積していて交差点などで見通しが悪くなっています。排雪の考えは？

答 村道は一部ですが排雪をしています。道道については北海道に要請をしています。(一部実施)

吉田保博議員

問 地方創生事業の「総合戦略策定」とは？

答 まず対策本部の設置として、庁内に村長をはじめ各課長による組織を立ち上げ、さらに住民による有識者会議を10人ほどで立ち上げ、地域の声を反映させながら「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を策定します。

問 今年度の大雪により、本村でも11棟の牛舎やD型などの農業施設の倒壊・破損する被害がでています。その対応についての考えは？

答 過去には、平成12年に36棟の被害があり、村は24棟について利子補給の対応をしています。平成14年には40棟の被害があり、10棟の利子補給をしています。今回も農協と協議していますが、今後の雪の状況を見ながら検討します。

及川満浩議員

問 地方創生事業の「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の関係は？

答 「地方人口ビジョン」は昨年12月に北海道の指導があり、すでに下準備の作業を進めています。これは「地方版総合戦略」の基礎となる数字なので、現状と将来展望を分析し、2060年までの人口ビジョンを策定します。この「地方人口ビジョン」をもとに「地方版総合戦略」を策定することになります。

松井洋和議員

問 歯科診療所への経営安定化補助金300万円が、そのまま300万円減額になっているのは？

答 平成25年度は、所長が代わり、交代による経費などがかかるため500万円の補助金を予算していましたが、300万円の執行となりました。今年度も経営安定化補助金として300万円を予算化しましたが、経営状況が良好なため補助金の支出を見送りました。

問 地方創生事業の「むらづくり講演会」は？

答 地方創生事業は対策本部と総合戦略策定委員などにより活動しますが、広く地域住民に、地方創生の概要や協働のまちづくりへの理解を深めていただけるような講演会を考えています。まだ具体的な講師は決まっていません。

問 特定不妊治療助成費40万円が、そのまま減額されているのは？

答 この助成費は、北海道が行っている不妊助成事業の該当者に、村が支出するものです。今年度も一人に対して2回分の20万円を、二人分見込んでいましたが、今のところ申請の見込みがないことで減額しました。

答 今年度は入牧頭数300頭を見込んでいましたが、195頭の実績となり大きく落ち込みました。年間預託できる村外の民間企業に流れたことが大きな要因と考えています。今後は預けてくれる農家さんに喜ばれるよう、サービスの向上に努め、入牧頭数の増加につなげたいと考えています。



自然災害の恐ろしさ





# 意見書

## 国へ提出



### 農協関係制度の見直しに関する意見書

提出者 松井洋和  
賛成者 東 隆行  
佐藤吉人  
及川満浩

昨年6月、政府は「規制改革実施計画」を閣議決定し、JAグループ北海道改革プラン（実施計画指針）を策定し、「組合員の所得向上」と「農村地域の活性化」による「持続可能な北海道農業」と「豊かな地域社会」の実現を目指し、自己改革の具体的実践に着手したところではある。

また、年明け以降、与党・政府内での検討が進められ、去る2月9日に農協法制度などの骨格案が決定されたところでもありますが、最終的な案の制定までは、継続的な意見反映が必要であります。

さらに、生産現場などからも、JAグループ北海道の自己改革が尊重されない農業改革では、農協系統組織のもつ機能が損なわれ、本道農業や地域の持続的発展に支障をきたすおそれがあるとの懸念の声が上がっています。

よって、今後、農協法改正案の取り扱いにあたり、地域農業・農村の持続的発展をはかるため、次の事項について強く要望する。

1 食料の安定供給、地域の振興について農協法の目的に明確に位置づけし、事業目的の見直しにあたっては、協同組合の基本的性格を維持すること。

2 准組合員は農業や地域経済の発展を共に支えるパートナーであり、人口減少への対応や雇用の創出など、「地方創生」のためにも、准組合員の利用制限は行わないこと。

3 JA・連合会の協同組合としての事業・組織を制約する一方的な事業方式・事業執行体制・法人形態の転換などは強制しないこと。



農協は生活の拠点です！



# 一般質問

## 村政のここを問う

6人の議員が13項目の質問

### 在宅福祉除雪サービスは？

不公平感が生じないように  
検討します！



秋里広志議員

住宅福祉除雪サービス事業は、村が社会福祉協議会に委託して行っています。今年は例年にないほど大雪の日が多く、対象者の皆さんからは「大変助かります」と感謝の言葉が聞かれています。一方、協力を依頼された農事組合やトラクター利用組合は、度重なる大雪と暴風雪で出勤回数も多くなり、色々と問題を抱えているところもあると聞

いています。除雪をする条件も個々違いがありまして、今年のように降雪や吹雪の回数が多い時には上乘せするなどの改善策を練ってほしいと思います。助け合いの気持ちやボランティア精神に頼るのみでは、せつかくの事業も長続きしない面も出てくるような気がしますので、村長の考えを伺います。

大石村長

本村の福祉除雪サービスの取り組みについては、概ね65歳以上の虚弱な独居高齢者、高齢夫婦世帯および障がい の程度が1

級または2級の重度の身体障がい者の方に対し、村が社会福祉協議会への補助支援を通じて、実施しています。

級または2級の重度の身体障がい者の方に対し、村が社会福祉協議会への補助支援を通じて、実施しています。

級または2級の重度の身体障がい者の方に対し、村が社会福祉協議会への補助支援を通じて、実施しています。

社会福祉協議会が、「除雪協力者」に対し依頼を行い、各協力者が担当する世帯の除雪を行うことで、その対応数に応じた協力費を支払う仕組みであり、その額は、対象1世帯当たり年額1万2千円から1万3千円となっています。

社会福祉協議会が、「除雪協力者」に対し依頼を行い、各協力者が担当する世帯の除雪を行うことで、その対応数に応じた協力費を支払う仕組みであり、その額は、対象1世帯当たり年額1万2千円から1万3千円となっています。

社会福祉協議会が、「除雪協力者」に対し依頼を行い、各協力者が担当する世帯の除雪を行うことで、その対応数に応じた協力費を支払う仕組みであり、その額は、対象1世帯当たり年額1万2千円から1万3千円となっています。



大雪時には補助支援の見直しを！

現在の協力費に基準回数を設け、降雪量や超過日数などに応じ加算措置を講じるなどの、検討が必要であると感じています。除雪作業にご尽力いただいている協力者の皆様に不公平感が生じないように、配慮いたします。



「子育て環境日本一」を目指しては？

鶴居村として総合的に「日本一」を！



松井洋和議員

「子育て環境」は、とても多くの要因が複雑に絡み合っているのではないのでしょうか。たとえば、将来にわたる地域を持続していくためには、それなりの子ども数が必要になってきます。子どもを増やすためには子育て世帯を増やす必要があります、そのためには雇用が必要になります。雇用が増えたと住居が必要になり、同時に介

護など福祉の充実も重要となります。様々な施策を打ち出している鶴居村だからこそあえて「子育て環境日本一」を目指して「ような明確で大きな旗を掲げることも必要ではないかと思うのですが、村長の見解を伺います。」

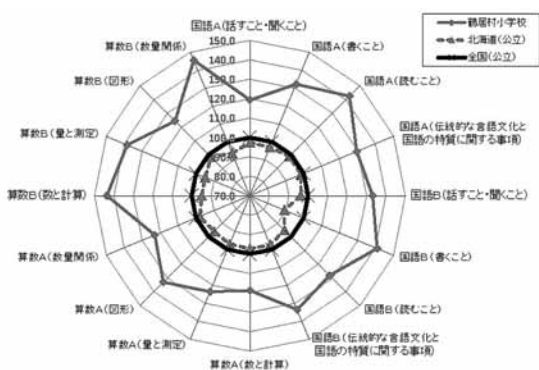
大石村長

全国各地には、「子育て環境日本一」などの宣言を行い、まちづくりを進める自治体もあります。この少子高齢化の中で「子育てしやすい環境」による出生数の増加を期待し、様々な施策を展開しながら、持続可能な地域社会の実現に向けた取り組みを

鶴居村内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:22名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



学力日本一

行っているものです。確かに「子育て環境日本一」を目指した宣言を行うことは、有効な手段の一つであるとは思いますが特定の分野について「日本一」を宣言するよりも、子どもからお年寄りまで、全世帯の村民の皆さんにとって「安心安全で住みよい村」となるよう、「子育て支援」をはじめとする各種施策の一層の充実に努めながら、「日本一」と評価されるように取り組みを進めたいと考えています。

「学力日本一」?

本村の教育に生かしたい!

松井洋和議員

昨年11月に北海道教育委員会から、26年度全国学力テストの市町村別結果報告書がはじめて公表されました。鶴居村の成績はとても素晴らしいものであることが、あらためて認識することができました。

先日、教育長から東成瀬村という名前を覚えてもらいました。2007年の全国学力テスト開始以来、最上位県の秋田県の中でもトップクラスの成績を維持している「学力日本一の村」と言われている、人口約2700人の村です。

また、東成瀬村は「日本でも最も美しい村」連合にも加盟していて、本村と通じるものを感じさせます。そこで、「教育の鶴居」をささえていく地域や環境の重要性について教育長の見解を伺います。

国安教育長

秋田県の東成瀬村は秋田市から100キロの位置にあります。小中ともに1校づつで、小学校14人、中学校67人、教職員は小中合わせて30人です。「共に学び合う教育」を目指し、様々な教育施策を講じています。特に学力向上の具体策として、「小中共通指導事項」を設定しています。「授業改善」「個に応じた指導」「学級集団づくり」「学習意欲の向上」「家庭との連携」「チャレンジ精神」「読書指導」などです。本村と同規模の自治体ということもあり、東成瀬村とは今後とも情報を共有し合い、本村の教育に生かしていきたいと考えています。「教育の鶴居」は、支える6つの力である「鶴居力」「地域力」「行政力」「学校力」「教師力」が総合的に作用し、相乗効果をはたし、PDCAサイクルを存分に機能させながら営まれています。地域との関係は一方通行ではなく、双方の関係となり機能しています。



### 新たな介護保険事業は？

#### 適切な運営を進めます！



及川満浩議員

介護保険事業も今年度から第6期目をむかえ、制度改定も行われます。村の対応を伺います。

大石村長

今年度からスタートする新たな介護保険事業計画は、増加する65歳以上の保険者の給付額と負担とのバランス、更に低所得者への新たな保険料負担軽減措置の実施とともに一般会計で負担軽減策に配慮する内容としていきます。

まず、新介護保険料で

すが、10段階に細分化し、標準保険料は月額5200円、前期の5630円との対比では、430円引き下がりとなります。

介護保険利用料負担の軽減対策は、一般会計で引き続き居宅介護サービス利用者の負担軽減を図ります。

総合事業への移行ですが、本村では、要支援者への介護サービスを提供できる住民主体の取り組みは見られず、また、専門性が高い分野であることから、当面村が直接的に取り組む方法でなければ対応出来ないと思われる2～3年の猶予期間を設け、準備を進めます。

認知症対策は、GPS機器の貸出しを新たに開始し、「SOSネットワーク」や「地域ケア会議」の開催による関係団体との情報共有を図り見守り対策を進めます。最後に健康づくりの推進や高齢者にやさしい環境、生涯を通じた生きがい、そして地域の福祉活動など、村の様々な計画との連携や関係団体との協力を図りながら、新たな介護保険事業でも、引き続き事業の適切な運営を進めていきます。

#### 新介護保険料

段階区分	新保険料		旧保険料		引き下げ額	
	年額	月額	年額	月額	年額	月額
第1段階	28,000	2,330	33,780	2,820	▲5,780	▲490
第2段階	28,000	2,330	33,780	2,820	▲5,780	▲490
第3段階	46,800	3,900	50,670	4,220	▲3,870	▲320
第4段階	56,100	4,680	67,500	5,630	▲11,400	▲950
第5段階	62,400	5,200			▲5,100	▲430
第6段階	74,800	6,230	84,450	7,040	▲9,650	▲810
第7段階	81,100	6,760			▲3,350	▲280
第8段階	93,600	7,800	101,340	8,450	▲7,740	▲650
第9段階	109,200	9,100	118,230	9,850	▲9,030	▲750
第10段階	124,800	10,400	135,120	11,260	▲10,320	▲860

### 戦後70周年に関する事業は？

#### 書籍の展示コーナーを設けます！

及川満浩議員

今年には戦後70年という節目の年です。

新たな首相談話の発表や、来年には憲法改正に関する国民投票も検討されるなど、第2次世界大戦の日本をどう評価するのか議論となりつつあります。

このような情勢の中、戦争体験を語り継ぐことは非常に意義のあることと考えますが、村としての取り組みができないものか伺います。

大石村長

村としては、政府や各団体がすでに実施し、戦

後70年に位置づけた事業は考えていません。

しかし、ふるさと情報館に戦後70年の節目の事業の一環として関連書籍の展示コーナーを設けて貸出をするなど、先の大戦から学び取った多くの教訓を忘れることがないように努めます。

### 各種行政情報の開示は？

#### 十分な検討を進めたい！

及川満浩議員

地方自治体においても情報公開や住民参加型の政策立案が推奨されています。

しかしながら、各種計画への住民参加や策定経過の公表状況などは、まだ不十分と考えていますが、村の所見および今後の対応を伺います。

大石村長

各種計画への住民参加や策定経過の公表状況の対応は、関係団体や有識者のほか一部住民の公募などを行い住民参加の取り組みを推進してきましたが、公表内容やその趣旨が十分に浸透していないなどの課題が多いことも事実でした。

こうした状況から、計画策定に関わる住民公表や意見募集などは、ホームページなどを活用することも必要かと考えますので、現在策定中の各種計画の取扱いも含めて、今後の取り組みを検討したい。

また、「村政懇談会」、「むらづくり懇話会」、「村長の出前トーク」の継続実施により、情報提供の場の拡充や、住民参加のむらづくりの推進に向けて引き続き取り組み、ホームページを有効に活用し、村民への各種行政情報の開示に向けて、十分な検討を進めたい。



ホームページ  
リニューアルは？

26年度年度内に完了！



大石村長

佐藤吉人議員

平成25年12月定例会でも質問させていただいた本件ですが、その後一度ホームページ制作会社からの説明（プレゼン）を拝聴させていただきました。

3月現在、27年度よりホームページ更新のための投入コンテンツ（目次）や操作性の検討作業の真っ最中で、年度末までには完了の予定です。

外国言語表記は、全ページについて作業中であり、英語・中国語（2種類）・韓国語を予定しています。

鶴居村から世界に向けた情報発信をするために、ただ今、急ピッチで作業を進めています。



ホームページ更新中

議会中継システム



待ち望まれる中継

今後の課題

- \* 議会広報紙の発行に関する事項
- \* 村民への広聴活動に関する事項
- \* その他議会広報および広聴に関する事項

広報広聴常任委員会

広報調査特別委員会

新しい議会から、  
名称変更します。

酪農畜産の生産基盤維持強化は？

営農改善推進協議会を  
あらためて機能させ対応を！



吉田保博議員

「改革断行国会」と位置づける安倍首相は、農協改革に強い意欲を示している。「競争することにより所得を倍増させる」と決意を強調しています。農協改革が農業所得の向上にどうつながるのか、あるいはTPP交渉の推移など生産現場に大きな不安があります。酪農畜産経営の情勢は大変厳しい状況になっています。村長も酪農生産基盤の維持強化は喫緊の課題と

認識し、継続事業の実施新規事業などにも努めています。

12月定例会での秋里議員の畜産クラスター関連事業の一般質問に、2月までに協議会の立ち上げと計画の策定に向け関係機関との協議を進めると答弁しましたが、進捗状況を伺います。

また、25年の3月定例会での私の一般質問に今後の酪農経営の在り方や後継者・担い手対策など体制整備を急ぐ必要があり、新年度早急に協議機関を設置し対応策をまとめたいとの答弁でした。また村に農業関係に精通した職員採用を検討出来ないかの提案をしましたが、見解を伺います。

大石村長

村では、2月3日に鶴居村畜産クラスター協議会の設立総会が開催され、その後3月4日付で北海道に畜産クラスター計画認定申請書を提出し、知事の計画認定を受けたあと、取りまとめをしたリース事業の申請を行ないます。原則事業費の2分の1が補助される本事業は、

今後の安定した酪農経営を維持するうえで欠かすことの出来ない経営基盤強化対策です。「新たな協議機関の設置」については、昨年4月に各農業関係機関やJAが参加し開催されました。その席では、新たな農業の課題を検討する組織は既存の組織を利用することで了解をえられました。

また、広域的に鉋根管内の市町村長とJA組合長を構成員とする新たな根釧酪農構想検討会議にて、根釧酪農振興ビジョ

ンが策定され、酪農と地域の持続的な発展に向けた、様々な取り組みを展開する方針が示されました。村に農業関係に精通した職員採用を検討が出来

ないかの以前からの提案は、現状では現在の体制を基本に、関係機関と連携し情報を共有しながら農業政策の推進を図ります。

「地方人口ビジョン」の策定は、2060年までの指標が求められています。

地方創生への取り組みは？

将来のむらづくりに向けた  
施策立案の検討などを進める！

吉田保博議員

対しては、財政支援をはじめ力強い支援を行うとされています。

27年は本格的に地方創生を実施に移す年としていますが、鶴居村の取り組みについて見解を伺います。

地方創生の取り組みは、26年度内に、各課長を主体とした「(仮称)鶴居村まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、各課連携して将来のむらづくりに向けた施策立案の検討などを進めて行く予定です。計画策定に向けては、外部講師による「講演会」などを実施します。

大石村長

人口減少と地域経済の縮小を克服し、将来にわたって活力ある地域を維持するため、国は昨年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、地方自治体ごとの「地方人

口ビジョン」と「総合戦略」の策定が義務付けられました。また、地域住民をはじめ、産業界・教育機関・金融機関・労働団体・メディアなどのいわゆる「産・学・金・労・言」の有識者などと連携を図り、広く地域などの意見が反映される組織作りを考えています。





村内の学童保育事業は？

学校施設利用を含め検討！



る保護者の説明会を行います。

次に、鶴居小学校の児童に対しては、現在のところ、空き教室が無いことから、ふるさと情報館で対応します。

大津泰則議員

下幌呂地区の学童保育が、現施設から下幌呂小学校施設への移転を行います。

今後、鶴居小・幌呂小で、下幌呂小学校と同様の学童保育の要請があった場合、どのように考えているのか伺います。

大石村長

下幌呂学童保育事業は、下幌呂小学校施設への移転を準備しており、4月以降に学童保育を利用す

今年度、中幌呂市街地の公営住宅整備について

は、民間事業者が設計および建設した建物を買取る「建設提案型買取方式」によって、建設コストの削減を図る計画ですが、今後も公任建設については、この方式で行われるのか、またどの程度のコストの削減を考えているのか伺います。

大石村長

また、幌呂小学校については、現時点では保護者から学童保育事業の実施要望を伺っていないものの、今後、学童保育実施についての地域要望があった場合は、教育委員会、学校および保護者との協議を行いながら学校施設を含めた対応を検討したいと考えています。

建設提案型買取方式？

2割のコスト減見込み！

大津泰則議員

村有住宅の建設は、基本的に官民連携による民間事業者が持つノウハウや事業力を活用することにより、コストの抑制や地域経済の活性化に努めていきます。

買取方式は、一定の制限があることから今後の整備の有無については十分に検討をしていきます。コスト削減は、2割程度と考えています。

社協の体制は？

職員の派遣併任で対応！

大津泰則議員

新年度から、鶴居村社会福祉協議会事務局の体制が変わるようですが、その内容とそこに至った経緯を説明願います。また、今後もこの組織体制で行くのか伺います。

大石村長

新年度の社会福祉協議会の体制については職員の派遣や併任を想定した内容で補助金算定を行っています。

各種福祉計画との整合性を図り、様々な課題によりスピーディーに対応するため、職員の派遣などをを行い、これまで以上の連携強化を図ります。当面、職員の派遣や併

大石村長

任による支援を行い社会福祉協議会に新たな取り組みなどがなされる場合については、組織体制の在り方について、協議の場を持ちたいと思います。

新しい青年組織を？

若者への前向きな支援を！

大津泰則議員

鶴居村青年団体連絡協議会が解散してから、早や16年が経ちました。

先日、産業常任委員会の「意見交換会」で若者との意見交換をしました。その中で将来のまちづくりへの参画など多岐にわたったキーワードが発信されました。

そのようなことから、異業種交流の組織を立ち上げ、若者がまちづくりに参画できる場を設けていただきたいと思います。が見解を伺います。

過日、開催された産業常任委員会での青年女性との意見交換会にて、鶴居村の現状課題や将来について、過疎化や厳しい酪農情勢などの現状を受け止めながら、若い世代の視点や角度から、「若者の集まる場所がない」・「村の事業は若者にはなかなか伝わってこない」などの貴重なご意見もいただいたとのことで、村に対する深い思いが伝わってきました。

「新たな青年団体の組織化」については、次代を担う若い世代が積極的にむらづくり活動に参画してもらい、将来に持続性ある取り組みを展開していくためにも、今後適当な時期に青年女性との意見交換の場を設けるなど、これまでとは少し違う角度から、青年が望む組織づくりや活動支援を模索するなどして、前向きに検討していきます。



# 委員会報告

## 総務常任委員会

平成27年3月19日に、保健福祉課の高松課長・五十嵐課長補佐をはじめ担当職員の出席をいただき、「子ども・子育て支援事業計画」について説明を求めました。

### 調査内容

「こどもは親、保護者が育むことが基本」としながら、地域をあげて社会全体で子ども・子育てを支援する新しい支え合いの仕組みを構築する必要がある、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境を整備することを目的として策定した旨の説明がなされました。

計画期間は、平成27～31年度までの5年間とし、平成31年度に進捗状況を点検し、必要に応じた見直しを行います。

この計画は、福祉関係の個別計画「健康つるい21」、「鶴居村障がい福祉計画」、その他関連個別計画との十分な連携と「鶴居村総合計画」との整合性を図りつつ、子ども・



子育て支援に関する専門的、個別的な領域を受け持つ計画となります。

ニーズ調査により、本村の子ども・子育て環境の問題点・課題点などを十分に把握し、本村で現在必要とされている環境の整備や事業の把握、ならびに将来的ニーズ量を見込んだ必要事業の確に把握をしている点など高く評価でき、誰でも理解しやすく良く出来た計画です。

今後は、社会の情勢分析や住民ニーズを的確に把握しながら、先駆的な取り組みを期待すると共に、計画の推進にあたっては、行政はもとより、地域全体で支援の必要性を理解して取り組むことが重要であり、引き続き当委員会での継続調査とするものとする。

### 産業常任委員会

産業常任委員会については、20～21ページの「産業常任委員会意見交換会」を参照して下さい。

### 議会運営委員会

3月3日に3月定例会の日程などについて協議を行います、会期を10日から18日までの9日間としました。

**広域連携  
議会報告**

### 釧路公立大学 12月定例会

松井(洋)議員より、「平成25年度釧路公立大学事務組合会計決算認定の件」  
「平成26年度釧路公立大学事務組合会計補正予算」  
「釧路公立大学教員の給与に関する条例改正」について、原案通り可決された報告がありました。

### 釧路広域連合議会 2月定例会

東議員より、「平成27年度釧路広域連合一般会計予算」について、原案通り可決された報告がありました。



釧路公立大学

### 第一回釧路北部 消防議会定例会

吉田議員より「平成26年度釧路北部消防事務組合一般会計補正予算」「平成27年度釧路北部消防事務組合一般会計予算」について、原案通り可決された報告がありました。





# 「くり」のために

## 意 見 交 換 会



産業常任委員会意見交換会の現状と将来について～



大津さん・和田さん

産業常任委員会  
 委員長 吉田 保博  
 副委員長 東 隆行  
 委員 及川 満浩  
 委員 大津 泰則  
 オブザーバー 松井 宏志

平成27年2月23日に議  
 会控え室で、「第2回産業  
 常任委員会の意見交換会」  
 を開催しました。  
 今回は、各青年女性団  
 体代表者と「鶴居村の現状  
 と将来」というテーマでの  
 意見交換を行いました。

### イベント



鶴居村ふるさとまつり

● イベントが若者向きで  
 はない。  
 ● プロムナードを使った  
 バル（屋台）、冬の花火大  
 会、野外ステージを使っ  
 た音楽フェスなど。

### PR

● イベントの拡大や村外  
 へのCMなどにより、もっ  
 ともっと鶴居村を大々的  
 にPRして、人を呼び込  
 むべき。  
 ● ふるさと祭りや花火大  
 会など、村民対象ではな  
 く、外から人を呼んでな  
 んぼ、村の存続をかけて  
 情報発信に力を入れなけ  
 れば、せつかくのよいも  
 のが埋もれてしまう。

### 交流

● イベントをやるからに  
 は楽しいものにしたらし、  
 行政側の指導も柔軟に対  
 応してもらいたい。  
 ● 議会だより、鶴居広報、  
 IP告知などやり方はい  
 くらでもあるが足りない。  
 ● いい政策を打ち出して  
 も知られていない。  
 ● 村の人にももっと知っ  
 てもらわなければならな  
 いし、観光案内所の開設  
 や、村ホームページを役  
 場・JA・商工会などで  
 共同運用するなどして、  
 鶴居村の情報をわかりや  
 すく伝える仕組みが必要。

### 食・住

● 住みやすいが、一人暮  
 らしの20代としては飲食  
 店が少ないのと、若者が  
 集まる場所がないのが不  
 便。  
 ● 鶴居村にはよい所（遊  
 ぶ所も含めて）がたくさ  
 んあるが、みんな知らな  
 いだけ、よい資源がある  
 のでもっと発信すればい  
 い。（スキー・スノボでバツ  
 クカントリーが楽しめる  
 場所がたくさんある。）  
 ● 軽スポーツ大会などの  
 交流の場がほしい。30〜  
 40代になると交流の場が  
 少なくなる。  
 ● 元々鶴居なので住みづ  
 らいと感じたことはない  
 が、飲食店や交流の場が  
 少ない。  
 ● 住みづらくはないが不  
 便、生活するなら都会の  
 方が便利。  
 ● とても住みやすいが買  
 い物と高齢者にとって通  
 院が問題になるのは間違  
 いと思う。  
 ● 安い物が不便、欲しい  
 物が売っていない。  
 ● 今は自動車で移動でき  
 るので特に不便さを感じ  
 ないが、高齢になった時  
 に不便になることが心配。  
 ● 市街地が空洞化してい  
 くのが寂しい。  
 ● 住みやすいが交通が不  
 便。（公共交通）  
 ● 農協の店舗があるので、  
 ちよつとした買い物はで  
 きるので住みやすいと言  
 える。  
 ● 飲食店が少なく、家族で  
 食事をする所が限られる。



行さん・増田さん



佐久間さん・武藤さん

力で将来に、  
 な花を咲かせる！





# よりよい「むらづ

## 産 業 常 任 委 員 会

出席者 10名

鶴居村商工会青年部

部長 大津 英大

副部長 和田 貴義

釧路丹頂農協  
青年部鶴居支部

支部長 富坂 隆志

副支部長 佐藤 幸一

釧路丹頂農協

女性部鶴居支部

フレッシュユミズ部会

代表 水本 梨佳

副代表 梅津 理恵

鶴居村農友会

会長 佐久間 広幸

武藤 潤

鶴居村地域おこし協力隊員

増田喜美子

鶴居村役場産業振興課

主事 加古 貴将



佐藤さん・富坂さん



梅津さん・水本さん



加古

### 行政

● 村がやっている事業についてはよいと思うが、若者が知る機会、見る機会があまりないし見えてこない、関係のあるものしか知らない。

● 事業が内向きなものばかりで、外に対して攻めるような事業が必要だと思う。

● 農業後継者対策が不十分。酪農従事者の確保にも力をいれてほしい。

● 村の取組みに関するアンケートは正直言って面倒なので、直接話す機会があればよい。

● 若い人で集まって話をしている、いろんないいアイデアがたくさんで

るが、若い人の考えを伝える場がない。

● 施設整備も重要だが、ソフト事業の充実がもっと重要だと思う。

(例えば、ネットワークづくり・人材育成など)



### 酪農

● 期間を決めて2年間から2年間実習に入ってもらって、助成して新規就農に繋げる。道内外に呼びかけるようにできないか。

● 夫婦で地域おこし協力隊として移住してもらい2〜3年間を酪農研修したのち離農跡地で新規就農させるといことも可能では。

● 地域おこし協力隊で5

### 若い 大き

人・10人という単位も可能なので、まとめて宿泊できるような施設があったらよいと思う。

また、多人数ならば酪農家に限定することなく、離農した土地での農業という方向にも目を向けて広く募集をかけるべきと思う。

● ヘルパーが条件の良い所に流れている現状があり、ヘルパーの雇用を安定させてほしい。(待遇改善が必要)

### 再利用

● 酪農以外の農業があったらよいと思う。

副産物を飼料や敷料にも使えるし、牛乳、牛肉、野菜と様々なものがある



ことでサイクルができると思うのでよいと思う。

● 今後も増えてくるだろう離農地をどうするのか、これは重要だと思う。

● そういった土地を酪農以外の農業で活用することができれば解決策になると思う。

● コメ作も出来るのでは？農業としての土地利用には賛成する。

● その土地に合った農業ができるならそれに越したことはないので基本的には賛成する。

● 離農した土地に必ず酪農家が入りなさいと指定すると入る人は限定されてしまう。

● 空いた土地に酪農家以外の農家を入れるのはありだと思う。

● 鶴居の野菜ができれば地産地消、地元で作って地元で消費できるので、意見としては賛成である。

● 畑作の是非と云う気持ちはあるが、自然に配慮した企業誘致や、将来的に雇用が生まれるであろう事業に投資すべきだと思う。

# 広報にかかわって...

及川満浩委員

4年前に村議会議員に  
初当選し、何もわからな  
いまま広報委員に任命さ  
れました。

このような未熟な私で  
したが、「議会だより」は、  
大津委員長のリリーターシ  
ップのもと、「広報つるい」  
や全国の議会広報紙にも

負けないものをと努力し、  
住民の皆様にも一定程度  
の評価を受けたものと自  
負も出来ました。

このことは委員同士で  
研さんし合ったこともも  
ちろんですが、ひとえに  
議事事務局や役場各課の  
職員のご指導、住民の皆  
様のご協力の賜であると  
改めて感謝申し上げます。  
4年間ありがとうございました。

松井洋和委員

初当選から早いもので4  
年が経ってしまいました。

私の「議会だより」の  
役割の主なものは、議会  
の録音を聞いて、各議員

が議場で発言した内容を、

できるだけ簡潔にわかり  
やすく文字におこすこと  
です。

はじめのうちは行政用  
語や議会用語に慣れず、  
また、各事業の内容がわ  
からないため、とても時  
間がかかったのを覚えて  
います。

しかし、何度も何度も  
録音した議事内容を聞い  
たことで、各施策の内容  
が理解できたのは役得で  
した。

この4年間、少しずつ  
「議会だより」を改善し  
てきましたが、まだまだ  
です。

読んでいただいた皆様に  
心からお礼申し上げます。  
そして、次期の広報広  
聴常任委員会の委員に、  
更に目を引く「議会だよ  
り」を期待しています。

佐藤吉人議員

「すみません、議会広  
報の佐藤と申しますが、  
議会報に掲載する写真撮

影らせていただいてよろ  
しいでしょうか?」「何を  
撮影するのですか?」「ど  
のような内容ですか?」

こんな繰り返し後、許可  
をいただけて撮影を開始  
します。自分が撮影時に  
特に気をつけていたのは、

大津泰則議員

4年間、「子ども達の笑  
顔と未来のために」とい  
うタイトルを素に表紙を  
作り、子ども達の頑張っ  
てる姿や、こぼれんばか  
りの笑顔を伝えることに  
努力をしてきました。

また、鶴居村の未来を

担う子ども達の成長のた  
めに、「大人が・私達がや  
らなければならぬ!」  
という自負でやってまい  
りました。

しかし、今回の卒業式  
の写真で参加してみて、  
実は子ども達自身が、み  
ずからの手で数えきれな  
い未来を創造し、実現し  
てきていることを思い知  
らされた私達でした。

子ども達の無限の素晴  
らしさを、心から感じる  
ことができた4年間でし  
た。

協力をして下さった皆  
様に感謝申し上げます。  
ありがとうございました。

## 感謝



### 広報委員会

- 委員長 大津 泰則
- 委員長 佐藤 吉人
- 委員 及川 満浩
- 委員 松井 洋和



問伐と問伐材の有効利用を促進して  
健全な森づくりに貢献します。